

平成17年度

社団法人 さいたま観光コンベンションビューロー

事業報告

総括報告

さいたま観光コンベンションビューローは、さいたま市及びその周辺地域における観光コンベンション事業の発展と普及をはかり、市民文化の向上と地域経済社会の発展に寄与すること等を目的とする団体として、今年度も会員をはじめ行政機関や関係団体との密接な連携の基に、積極的な事業の推進をしてきたところである。

しかしながら、平成17年度の経済情勢は、数年前からの景気回復を続けていると言われながらも、個人消費の伸びは認められず、大変に厳しい景気状況が続き、当ビューローの事業活動を取り巻く経済環境も前年同様厳しいものであった。

一方、平成17年度は、さいたま市と岩槻市の合併にあわせ、岩槻市観光協会と統合し、観光資源の充実という面においても大きな変化が生じた年でもあった。

このため、新たに岩槻エリアを加えた観光マップ、ホームページを再編成するとともに、観光マップの日英併記版の作成などを行い、より充実した観光情報の提供に努めた。

また、観光案内所の運営においては、新たにJR東日本と共同で大宮駅観光案内所の運営を開始するとともに、さいたま新都心駅においても観光案内所の運営がビューローへ移管、さらに平成18年2月には、JNTO（独立行政法人国際観光振興機構）が推進する「i」案内所に北浦和・浦和を合わせた市内の4ヶ所の案内所を登録、今後より一層海外からの観光客誘致を増加するための第一歩のステップをようやく踏み出すことができた。

コンベンション事業においては、はじめて民間からの職員の派遣を受け入れ、豊富なノウハウを活かした本格的な誘致営業活動に着手、誘致実績も着実に推移しており、今後はさらに県・市・関係団体と一体となった誘致体制の充実が急がれるところである。

例年実施しているコンベンション経済波及効果調査でも、16年度の経済波及効果額は185億円余となり、コンベンション事業の推進が益々重要性を帯びてきている。

また、新たに観光振興においても調査を実施し、地域観光及び観光物産に関する調査事業を行い、広報活動の実態や土産品等の認知度について調査するとともに、今後の振興活動の指針を策定するための基礎データをまとめた。

経営面においては、さいたま市の行政改革に関する指針が提示されたことを受け、経営改善計画の策定を行った。これは、本来のビューローのあるべき姿を将来像とし、現状の分析を行うとともに、公益法人の社会的立場や置かれている状況、組織及び職員の給与なども対象にし、今後3年間の改善計画を策定した。

さらにさいたま市で行われている「さいたま市観光振興ビジョン」の策定に向けて積極的に協

力した。

財務・会計においては、平成18年度から適用される公益法人会計の制度変更を見据え、17年度の決算においても基金会計等を整理、適正化を行うとともに、超低金利時代での資金運用を検討し、はじめて市公債の購入を開始し、基本財産及び退職金の一部を割り当てるなど、財源の運用面を改善することができた。一方、会費収入の伸び悩みを補うため、広告収入などの増加に努めるとともに、負債部門の決算整理により、今年度は11,172千円の正味財産の増となった。

事業別報告

1 内外観光客及びコンベンションの誘致促進、開催支援並びに広報宣伝

(1) 誘致支援事業

①誘致促進事業

・観光客誘致キャンペーンへの参加

2月16日(木)、都道府県会館(永田町)で開催された「埼玉県観光交流会」に参加。さいたま市をPRし、誘致に努めた。

・コンベンション主催者へのセールス活動

各主催者団体のホームページ、その他情報類によりコンベンション開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性がより高い団体の県内キーマンを中心に誘致セールスを行った。

・国際ミーティング・エキスポ「IME2005」への出展

12月7日～8日、東京国際フォーラムにおいて、日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)、及び独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)主催の「第15回国際ミーティング・エキスポ(IME2005)」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場した主催者約80名に対し、本市への開催誘致を図った。(全来場者数1,212名---但し、出展関係者を除く)

・コンベンション施設見学会の開催

1月23日、IME2005におけるさいたまブース来場者へのフォローアップ及び新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェント等を対象とした市内施設見学会(大宮ソニックシティ、さいたまスーパーアリーナ、大宮盆栽村、ジョン・レノン・ミュージアム)を開催し、33団体48名の参加をみたが、前年度に比べ参加団体数において約2倍の実績をあげることができた。

・コンベンション開催準備資金貸付制度の実施

他の支援事業と併せ本制度の周知を図り、本市開催の誘致活動を行った。(貸

付実績1件)

- ・コンベンション施設内覧会への協力

9月26日、財団法人埼玉県産業文化センター主催の「大宮ソニックシティ施設内覧会」へ職員を派遣し、支援内容の説明、観光スポットの案内等を行った。

②開催支援事業

- ・コンベンション及び観光イベント開催時における臨時観光案内所・推奨土産品販売所の出店

全国消防救助技術大会に対し臨時観光案内所・推奨土産品販売所を設置し、本市開催のメリットをアピールした。

- ・来客者に対する主要駅への歓迎幕の設置

JR大宮駅西口及びJRさいたま新都心駅内に「ようこそさいたま市へ」と記載した横幕を掲出し、本市来訪への歓迎の意を表し、市民へホスピタリティ啓発のアピールを行った。

- ・観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

観光マップを45件約35,000部、コンベンションバッグを20件約8,600部提供し、本市開催のメリットをアピールした。

- ・歓迎看板の掲出

国内会議2件に対しJR浦和駅、JRさいたま新都心駅及び東武野田線東岩槻駅へ歓迎看板を設置し、本市のホスピタリティをアピールした。

(2) 広報宣伝事業

①広報宣伝活動

- ・広報誌「S a i's」、コンベンション施設ガイド等の発行

<広報誌「S a i's」>

会員、関係団体、一般市民、コンベンション主催者等へ向けた当ビューロー並びに観光・コンベンション情報の広報宣伝を行った。(年3回発行、夏号=7月、秋号=10月、春号=3月:各15,000部発行)

<コンベンション誘致パンフレット>

コンベンション主催者へ向けた誘致セールス用に作成。(2,000部発行)

<さいたま市観光地図「ポケナビさいたま」>

実際に本市を訪れたビジター客へ向けた情報検索のきっかけになる地図として作成。(140,000部発行)

<さいたま市観光ガイドマップ「さいたまマップ」>

「ポケナビさいたま」より詳細な観光情報を提供するため、さいたま市と共同で作成。(18,000部発行)

<コンベンションバッグ>

コンベンション参加者が会議資料等を入れられ、また持ち歩きされるため当
ビューローのPRにも活用できるビニール製手提げバッグを作成。(16,500部作成)

- ・各種観光マップ・ポスターの作成・頒布の実施
- ・浦和駅西口地下道ショーウィンドーをはじめ、新聞・タウン誌、その他広告媒体による広報・宣伝の実施

②シティセールス活動

- ・インターネットによる国内外への誘致PR

アクセス数(訪問者数)は昨年に比べ158.3%増加し、517,968件であった。合併により、岩槻エリアを含めた観光スポットの紹介をするなど観光情報を中心にホームページの情報充実に努めた。

月	訪問者数(件)	ページ閲覧数(ページ)
平成17年4月	33,372	207,754
5月	37,543	235,351
6月	32,454	199,946
7月	54,560	368,949
8月	96,728	695,257
9月	35,128	160,355
10月	41,311	190,154
11月	38,194	188,455
12月	36,640	167,882
平成18年1月	40,691	195,683
2月	31,221	150,161
3月	40,126	332,917
合計 (昨年度)	517,968 (327,269)	3,092,864 (1,815,026)
前年比	158.3%	170.4%
1ヶ月平均	43,164	257,738
1日平均	1,419	8,474
※昨年度はリニューアルのため10ヶ月		

- ・花の見どころを紹介するマップの作成

市内の桜の名所20カ所を掲載した「さいたま市 桜の見どころマップ」を
10,000部作成し、誘客を図った。

- ・観光写真コンクールの開催

64名、195点の応募があり、以下の作品が入賞した。

推せん『願いを込めて』 鹿島秀夫氏

特選：4名、準特選：6名、入選：5名、佳作：10名

・観光スポット、コンベンション施設等の写真の貸出

2 観光及びコンベンションに関する調査研究並びに情報の収集・提供

(1) 調査研究・情報収集事業

①調査研究事業

- ・既存の観光事業分析・検証及び観光物産の調査の実施
- ・コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実態を計数的に把握するため、17年度
に開催された個別のコンベンション(3件)における経済波及効果を調査した。

- ・コンベンション開催による経済波及効果調査の実施、データ提供

同じく、16年度における年間開催件数及び年間経済波及効果を調査し、コ
ンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、個別
調査とともに報告書を作成し関係機関等に提出した。

- ・コンベンション主催者の分析調査の実施

JCCBコンベンション開催意向調査資料及び各主催者ホームページ等情報
類を分析し、コンベンション開催動向やキーマン情報を誘致セールスに活用し
た。

- ・顧客名簿、開催意向等の保守管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報のデータベース化に着手した。

- ・さいたま市観光振興ビジョン策定への協力

ビジョンのワーキング会議に参加し、当ビューローの立場から提言し、基礎
調査報告書作成に協力した。

②情報収集事業

- ・観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

JCCB、全国コンベンション運営事業者協議会(CPA)、日本PCO協会
の各総会及びJCCB主催のコンベンションビューロー部会、研修会等に参加
し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。

また、JNTO等のコンベンション推進団体による各種統計・アンケート調
査等に対して随時協力した。

- ・大都市観光協会連絡協議会への参加による情報交換

政令指定都市の観光協会、コンベンションビューロー等で組織する大都市観
光協会連絡協議会へ参加。様々な施策や課題などについて情報交換を行った。

3 観光及びコンベンション振興のためのイベント等の開催並びに観光・物産の開発・振興

(1) イベント事業

行事名	期日	場所	入込／参加人数
岩槻城址公園桜まつり	4／2・3	岩槻城址公園	入込20,000人
さくら草まつり	4／16・17	市役所・さくら草公園	入込市役所13,000人 さくら草公園 90,000人
ばらまつり	5／21・22	与野公園	入込170,000人
大宮薪能	5／27・28	武蔵一宮氷川神社境内・さいたま市民会館 おおみや	鑑能者2,740人
氷川神社の茅の輪くぐりと植木草花市	6／30	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込12,000人
朝顔市	7／3	岩槻駅東口クレセントモール	入込800人
浦和祭り（前夜祭・音楽パレード・浦和おどり・みこしパレード・南浦和会場）	音楽・おどり 7／17 みこし7／24 南浦和7／24	浦和駅周辺 南浦和駅東口西口	音楽入込55,000人 おどり入込 145,000人 みこし入込 130,000人 南浦和入込50,000人
与野夏祭り	7／17・18	与野本町通り周辺	入込240,000人
岩槻まつり	7／24	岩槻駅東口周辺	入込130,000人
大宮夏まつり「スパークカーニバル」	7／31・8／1	大宮駅西口周辺	入込280,000人
大宮夏まつり「中山道まつり」	8／1・2	大宮駅東口周辺	入込270,000人
大宮夏まつり「大宮日進七夕まつり」	8／6・7	日進駅前通り周辺	入込156,000人
さいたま市花火大会	8／13	荒川総合運動公園	入込750,000人
さいたま市民まつり	10／8・9	さいたま新都心周辺	入込350,000人

クリーンさいたま釣りの祭典	10 / 16	びん沼川周辺	参加256件
十日市	12 / 10	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込160,000人
十二日まち	12 / 12	調神社とその周辺	入込130,000人
大宮 Bonsai 大学	3 / 5	見沼グリーンセンター	参加56人
合計		入込計 3,155,000人	

(2) 観光物産振興事業

①地域観光振興

- ・各種イベント・地域観光振興事業の協賛後援事業（大盆栽まつり・さいたま太鼓エキスパート2005・彩の国さいたま元気フェスタ・大歳の市（十二日まち）・大正時代まつり・与野七福神めぐり・大宮日進七夕まつり・うなぎまつり・コラボさいたま、咲いたまつり、岩槻まつり他）
- ・Jリーグチーム等への積極的支援及び協力
- ・海外姉妹都市との交流事業への協力
- ・友好都市との交流事業への協力

②物産振興事業

- ・推奨土産品の広報及び販売経路の拡充

3月1日よりホームページ上でのオンライン販売を開始した。

4 内外からの来訪客に対する“おもてなしの心”の普及・啓発

(1) おもてなしの心普及・啓発事業

- ・「おもてなしの心」セミナーの開催

7月3日、講師広瀬光治氏（社団法人日本編物文化協会理事）により「ニットの伝道師のまた訪問したい街」と題し、おもてなしの心普及・啓発を目的としたセミナーを開催した。（会場＝岩槻駅東口コミュニティセンター、参加者＝120名）

- ・会員事業所等における観光マップの配布

ポケナビさいたま 約10万部

さいたまマップ 約1万部

- ・観光ボランティアガイド会への支援

ホームページ上での紹介並びに派遣依頼の受付

5 観光案内所、その他関連施設等の管理及び運営

(1) 観光案内所等の管理運営

①大宮駅観光案内所（J R 大宮駅東西自由通路内）、さいたま新都心観光案内所（J R さいたま新都心駅東西自由通路内）、北浦和観光案内所（J R 北浦和駅東口前）、浦和観光案内所（J R 浦和駅西口前）の運営

- ・観光案内業務
- ・各種パンフレット配布業務
- ・推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務
- ・チケットぴあ業務

②観光施設の維持管理

- ・花の名所の維持管理

6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 会員サービス事業

- ・会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新春賀詞交歓会を平成18年1月11日にコミュニティプラザCORSOで開催。来賓10名、会員146名の参加があった。

- ・功労者・優良従業員表彰制度の実施

観光コンベンション事業に功績のあった功労者7名を平成17年6月17日開催の通常総会にて表彰した。

(2) 観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ等売上 1,592,109 円

(3) 公共施設等における自動販売機の設置による来遊者へのサービス事業の推進

年間売上 4,097,802 円

(4) その他、自主財源の確立に向けた取組